



2026年2月16日

各位

会社名 ポート株式会社
 代表者名 代表取締役社長 CEO 春日博文
 (コード番号: 7047 東証グロース・福証Q-Board)

問い合わせ先 常務執行役員兼 辻本 拓
 財務IR部長

TEL. 03-5937-6466

2026年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025年5月13日に公表しました2026年3月期(2025年4月1日～2026年3月31日)の通期業績予想を修正しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期通期業績予想数値(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上収益	EBITDA ※1	将来利益込 EBITDA※2	営業利益	税引前 利益	当期利益	親会社の 所有者に 帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
前回発表予想(A)	百万円 28,000	百万円 4,400	百万円 7,210	百万円 3,500	百万円 3,450	百万円 2,270	百万円 2,270	円 銭 170.31
今回修正予想(B)	百万円 29,000	百万円 5,300	百万円 8,500	百万円 4,100	百万円 4,000	百万円 2,720	百万円 2,670	円 銭 202.98
増減額(B-A)	1,000	900	1,290	600	550	450	400	
増減率(%)	3.6	20.5	17.9	17.1	15.9	19.8	17.6	
(参考) 前期実績 (2025年3月期)	21,963	3,652	5,520	2,987	2,932	1,881	1,887	142.50

※1 EBITDA=営業利益+減価償却費+固定資産除却損及び評価損益+株式報酬費用

※2 将来利益込 EBITDA=EBITDA+将来利益

2. 業績予想修正の理由

当社は、PORT ODYSSEY800として2030年3月期での売上収益800億円、EBITDA130億円を目標とした5か年の中期経営計画の達成に向け取り組んでおりますが、その初年度となる2026年3月期につきましては、ストック利益への転換として積極的に将来利益の積み上げを行いながら、エネルギー領域、人材領域ともに総成約件数の拡大とシェア拡大を図り、売上収益280億円、EBITDA44億円を期初予想としておりました。

良好な外部環境において、エネルギー領域、人材領域ともに順調で、2026年3月期第1～3四半期において会社計画に対して特に各利益で上回り推移しており、保守的に今期赤字想定であった系統用蓄電所事業においても順調な立ち上がりで黒字転換見通しとなっております。

第4四半期においては来期(2027年3月期)以降の継続的な成長持続の為に、期初計画以上に将来利益の更なる積み上げをはじめとした様々な成長投資を大胆に実行することを予定しておりますが、エネルギー領域・人材領域のオーガニックの計画比上振れでの推移に加えて、株式会社HRteamが2025年11月から連結子会社となることや第3四半期において段階取得に係る差益約3億円を計上したこともあり、売上収益及び各利益を上方修正いたしました。

(第4四半期見通し)

各事業における状況及び第4四半期における見通しは以下の通りになります。

エネルギー領域においては、電力・ガス事業者の新規顧客獲得需要の増加や成約単価の上昇が見られる中で、マーケティング投資を積極的に行い、総成約件数が順調に拡大しながら、積極的に将来利益の積み上げを行っており、前期までに積み上げた将来利益により着実にストック利益が拡充されることも含めて好調な業績推移となっております。

需要期である第4四半期においても、電力・ガス事業者の新規顧客獲得需要が高い中で、マーケティング投資を更に積極的に行い、総成約件数を拡大させながら、期初計画以上に将来利益の積み上げを行うことで、来期以降の継続的な利益成長のためにストック利益の拡充を図ります。将来利益については、新規領域とあわせて期初計画の28.0億円（前年同期比50%増）から更に増加させ32.0億円（前年同期比71%増）としています。

人材領域においては、企業の新卒採用意欲の回復や採用競争激化等の良好な外部環境において、就職活動の早期化の影響を受けながらも、新卒層の約90%が会員となる強固な会員基盤を元に、キャリアアドバイザーの増員や地方拠点の拡大等による成約件数の増加、成約単価の上昇等により人材紹介を中心に成長しております。

就職活動早期化により第4四半期が需要期となる中で、引き続き人材紹介を中心に高い成長を見込んでおります。

オーガニックで高い成長を持続しながら、HRteam社が2025年11月から連結子会社として人材領域業績に加算されることで前年同期比売上収益87%増収、事業利益77%増益となった第3四半期同様に第4四半期においても大幅な増収増益を見込んでおります。また、来期以降においても新卒紹介サービスにおいて業界No.1となったポートグループとして成約件数の最大化による成約単価交渉力向上、顧客（求人事業者）基盤の強化、テクノロジーを活用した生産性向上施策等を横展開すること等によるシナジーを最大化することで、新卒紹介サービスを中心に市場シェアの更なる拡大を図ってまいります。

※上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上